

文 書 質 問 回 答 書 （５月）

質問者： 鈴木 千逸 議員

回答日： 令和６年５月２１日

1. 自転車通学のヘルメット着用について	「自転車通学のヘルメット着用について」のご質問ですが、北海道警察の「令和５年における交通事故の発生状況」によりますと、道内児童生徒の自転車用ヘルメットの着用率は全国平均を大きく下回っており、特に中学生は１．２％と４０ポイント以上低い状況となっております。 教育委員会におきましては、道路交通法の一部改正を大きな契機として、自転車による事故により、栗山の子どもたちの命が奪われることのないよう、ヘルメットの着用率の向上に努めなければならないと認識しているところであり、昨年からヘルメット着用についてのリーフレットの配布、安全教育の実施、街頭指導などを行ってきたところであります。 このような中、現状、校則での義務化はなされておりましたが、小学校においては、既にヘルメット着用を自転車通学を許可する際の条件としており、また、中学校においても、令和７年度より同様に許可条件とすることで協議が進められているところであります。 ヘルメットの購入助成につきましては、着用促進の一つの手法として有効であると認識しておりますが、ヘルメット着用と準備は、各ご家庭で対応していただくことが基本と考えております。 このため、教育委員会として、ヘルメット購入助成は考えておりませんが、今後、町全体の交通安全対策の観点からヘルメット着用の普及促進を図るべく、ニーズ調査も含めて助成制度の検討を進めていくこととしております。 なお、学級活動やホームルーム活動及び生徒会活動等で児童生徒が主体的にヘルメットの必要性を話し合う機会を設けるとともに、保護者に対してもＰＴＡ活動等でヘルメットの着用について意見交換の機会を設けるなど、通学時に限らずヘルメットの着用促進に向けた働きかけをしてまいります。 また、警察署を初めとする関係機関等とも連携しながら、児童生徒の交通安全や事故防止の推進を図ってまいりますのでご理解ください。 【教育委員会回答】
-----------------------------	---